

命と家族、絆の物語。



魂が号泣する感動の104分

# うまれる

ナレーション つるの剛士

企画・監督・撮影：豪田トモ プロデューサー：牛山朋子 コーディネーター：大葉ナナコ 音楽：古田秘馬 プロダクションデザイン：満田 明  
コメンテーター：池川 明 飯島浩二 岡井 崇 大葉ナナコ 見尾保幸 吉村 正 エンディングテーマ：「オメデトウ feat.KOHEI JAPAN」 つるの剛士 (PONY CANYON INC.)  
製作：インディゴ・フィルムズ / 配給・宣伝：マジックアワー © 2010「うまれる」パートナーズLLP  
企業サポーター： Combi unicharm pigeon Aprica Wakodo 9200 12000 12000 JAL  
www.umareru.jp

うまれる  
～不妊と流産と乗り越えて～  
2010年 モントリオール  
世界映画祭入選  
第16回 サンアントニオ  
映画祭入選

NHKや  
朝日新聞等でも  
話題!!  
Yahoo!ムービーで  
No.1獲得!!



自分たちが産まれてきた意味や家族の絆、命の大切さ、人との繋がり、そして“生きる”ことを考える、ドキュメンタリー映画です

### ■帯広上映会

7/27(土) 帯広市民文化ホール 小ホール

- ①学生タイム(小・中・高生対象 ※親子さん・先生の付添可)  
開場10:00 開演10:30～12:30 ※定員500名
- ②一般タイム 開場13:30 開演14:00～16:00 ※定員500名

### ■上士幌上映会

8/4(日) 上士幌町生涯学習センター 2階視聴覚ホール

- ①ファミリータイム 開場9:30 開演10:00～12:00 ※定員50組(要予約)
- ②一般タイム 開場13:30 開演14:00～16:00 ※定員160名

■前売券：大 人900円 小中高生500円(※当日券は各100円増)

※上士幌上映会「ファミリータイム」は小・中学生無料、乳幼児同伴可、事前予約が必要です。090-1648-5373(高田)までご連絡下さい。  
※一般タイムは乳幼児不可、託児をご用意いたしますのでお問い合わせください。※全席自由席となります。先着順ですのでご了承ください。

映画「うまれる」  
十勝リレー上映会 第2弾  
11月に芽室にて上映予定

子宮出身の  
すべての人たちへ贈る  
感動のドキュメント



両親の不仲、虐待の経験から  
親になることに戸惑う夫婦。  
出産予定日に我が子を失った夫婦。  
子どもを望んだものの  
授けられない人生を受け入れた夫婦。  
完治しない障害を持つ子を育てる夫婦。  
全てが「うまれる」  
ストーリーです。



この映画は、たんなる出産ドキュメンタリーなどではなく、  
出産を切り口にした『親子の物語』なのだと思う。  
親に、深く、深く、感謝した。

## 乙武洋匡

(作家)

私に関わってくれるすべての人に  
「本当に本当にありがとう」と言いたくなりました。  
また政治家という立場からも  
何ができるか考えさせられる映画でした。

## 小淵優子

(衆議院議員 元少子化対策・男女共同参画担当大臣)

生きてていろいろ腹立つことあるけど、結局、うまれたから  
愛する人と出会えたんだ。悲しくない涙がたくさん出ました。

## 鈴木おさむ

(TBSドラマ『生まれる。』脚本家)



あなたの町で映画『うまれる』を上映しませんか？

自主上映会サービスの詳細 & お申込は公式 HP より 

“僕はただ、両親と仲直りがしたくて、  
この映画を作ったのかもしれない”

自分は愛されているだろうか… 自分は本当にこの両親の子ども  
なんだろうか… 物心ついた時から、僕はそう思っていました。

4歳年下の弟が右目が半分開かない状態で産まれてきたことから、  
両親は弟の事で精一杯。僕は「親の愛情」というものを、知らず  
に育った気がしていました。

自分はなぜうまれてきたのか、何のために生きているのか… 自分  
の存在価値がよくわからなくなり、結婚や子どもを持つことに、全く  
夢を描けませんでした。

そんなある日。講演会で「赤ちゃんは雲の上で親を選んで生まれて  
くる」という胎内記憶の話の話を聞きました。

自分は好きでうまれてきたんじゃないし、子どもは親を選べない  
ずっとと思っていた僕は、非科学的でファンタジーな話とは思いつつ、  
心から感動したのです。

自分が選んだのかも、と考えると、いまの親子関係は自分にも責任  
があるのでは、自分も本当は愛されていたのでは… 長らく抱いて  
いた否定的な感情が少しずつ消えていくのを感じました。

「うまれる」ことを映画にしたい！命の原点に向き合うことで、僕自  
身、両親との関係を築き直せるかもしれない……。

それから3年あまり。何十組ものご家族、ご夫婦を取材・撮影さ  
せていただきましたが、「うまれる」ことを知れば知るほど、そ  
の奥深さと神秘的に僕は圧倒されました。

産まれてくること、そして生きることは、まさに奇跡の連続。頭では  
分かっている命の尊さ、感じる機会ってどのくらいあるのでしょうか？  
全身の細胞全部で、映画のメッセージを受け止めていただけたらう  
れしいです。

企画・監督・撮影 豪田トモ

# うまれる

ナレーション：つるの剛士 企画・監督・撮影：豪田トモ

製作：インディゴ・フィルムズ / 配給：宣伝：マジックアワー  
©2010 「うまれる」パートナーズLLP  
2010 / 日本 / カラー / HD-35mm / 104分 / ビスタサイズ / DTS STEREO

[www.umareru.jp](http://www.umareru.jp)



命のドラマが書籍になりました。

「うまれる かけがえのない、あなたへ」

豪田トモ著 PHP 研究所 1,470円(税込)

【チケット取り扱い】十勝毎日新聞社窓口・勝毎サロン・かちまいアカデミー・ぶれいおんとかち・かふえ埴埴・かふえ & えすてen・子育て支援ハウスchipS・(有)タカダ薬局 他

主催：とかち「うまれる」プロジェクト実行委員会・めむろパパスイッチ実行委員会・上士幌町はっぴーママくらぶBono-Bono

共催：(株)十勝毎日新聞社 特別協賛：クルールとかち(大同出版社業株) 協賛：帯広厚生病院・慶愛病院・公立芽室病院・北斗病院・子育て支援ハウスChipS・(有)タカダ薬局・学研教室帯広事務局・  
Step×Step HipHop dance class for kids・(株)ヨシダホーム

後援：帯広市・上士幌町・十勝教育局・十勝管内教育委員会連絡協議会・帯広市教育委員会・上士幌町教育委員会・帯広市PTA連合会・公益社団法人誕生学協会・8project